

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	change fuel(ガソリン用)
供給者の会社名	アルファス株式会社
住所	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2661
電話番号	092-410-7788
ファックス番号	092-410-7789
電子メールアドレス	info@alphas.fun
推奨用途及び使用上の制限	燃料タンク内の水分除去、エンジン燃焼室ならびに燃焼系統の洗浄

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分4

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分2
皮膚感作性 : 区分2
発がん性 : 区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分1＜血液＞
: 区分2＜眼＞
: 区分3＜麻酔作用、気道刺激性＞
特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分1＜血液、眼、鼻＞
: 区分2＜肝臓、精巣＞

環境に対する有害性

誤えん有害性 : 区分1
水生環境有害性 短期（急性） : 区分3
※記載のないものは区分に該当しない又は分類できない。

GHSラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・可燃性液体
- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・アレルギー皮膚炎を起こすおそれ
- ・臓器＜眼＞の障害のおそれ
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・眠気又はめまいのおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器＜眼、鼻＞の障害
- ・飲み込んで気道に侵入すると危険のおそれ
- ・長期継続的影響によって水生生物に毒性をもたらすおそれあり

注意書き

安全対策

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・屋外又は換気のよい場所で使用すること。
- ・汚染された作業着は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。

応急措置

- ・火災の場合：火元への燃焼源を断ち、水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂等を使用して消火すること。
- ・飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と洗剤で洗うこと。
- ・吸入した場合：呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：流水で数分間、注意深く洗うこと。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。

・皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。 ・眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。 ・汚染された衣類を再利用する場合には洗濯をすること。 ・漏出物を回収すること。 保管 ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 ・子供や認知症の方等の手が届かなくところに保管すること。 廃棄 ・内容物が入ったままの容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。						
3. 組成及び成分情報						
化学物質・混合物の区別		混合物				
分類に寄与する不純物及び安定化添加物						
組成物質名	含有量(%)	CAS NO.	化審法NO.	安衛法NO.	PRTR法NO.	
界面活性剤	55～70	非公開	非公開	非公開	非公開	
グリコール系アルコール	10～15	非公開	非公開	非公開	非公開	
エタノール系アルコール	15～25	非公開	非公開	非公開	非公開	
無機化合物である窒化水素	5.5～8.8	非公開	非公開	非公開	非公開	
4. 応急措置						
吸入した場合	：直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくして安静にする。医師の診察を受けること。					
皮膚に付着した場合	：せっけんや皮膚用の洗剤を使って水でよく洗い流す。					
眼に入った場合	：直ちに清浄な流水で15分以上洗い流す。コンタクトをしている場合は可能ならば外して洗うこと。					
飲み込んだ場合	：口をすすぎ、無理に吐かせないこと。医師の診察、手当を受けること。					
5. 火災時の措置						
適切な消火剤	：水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂					
使ってはならない消火剤	：該当なし					
特有の消火方法	：可燃物を周囲から取り除き、高温にさらされる周囲の設備には水をかけて冷却する。					
消火活動を行う者の保護	：保護具を着用し、風上から消火活動を行う。					
6. 漏出時の措置						
人体に対する注意事項	：作業の際には必ず保護具を着用し、風上で作業を行う。					
環境に対する注意事項	：流出した製品が河川や土壌に流れ出し、環境を汚染しないように注意する。					
封じ込め及び浄化の方法及び機材	：漏出源を遮断し漏出を止める。少量の場合は乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて密閉できる容器に回収する。大量の場合は盛土を囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。					
二次災害の防止策	：風下の人を退避させる。漏出した周辺にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに除去するとともに、消火剤を準備する。					
7. 取扱い及び保管上の注意						
取扱い						
技術的対策	：火気厳禁。電気機材は防爆構造にする他、静電気、スパーク等による着火源を生じないようにする。静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性の物を用いる。目、及び皮膚への接触を避ける。					
安全取扱注意事項	：火気厳禁。高温、スパーク、火災を避けて酸性化物質との接触を避ける。					
保管						
安全な保管条件	：保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は全て接地する風通しの良い冷暗所に保管する。直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。水のかかる所や湿気の多い所を避ける。車室内に放置しない。					
安全な容器包装材料	：破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。					
8. ばく露防止及び保護措置						
ばく露限界	：この製品は地域の特定制織機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。					
設備対策	：屋外又は換気の良い所で使用する。屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。					
保護具						
呼吸用保護具	：換気の良い場所での通常の条件下では不要。悪い場所では有機ガス用防毒マスクを着用する。					
手の保護具	：適切な保護手袋（ゴム製、ポリエチレン製等の不浸透性素材）を着用する。					
眼の保護具	：適切な保護眼鏡（側板付き普通眼鏡、ゴーグル型など）を着用する。					
皮膚及び身体の保護具	：長袖の作業衣、長靴、保護前掛けを着用する。					
9. 物理的及び化学的性質						
物理状態	：液体					
色	：黄褐色透明					
臭い	：アンモニア臭					
融点・凝固点	：データなし/－15℃					
沸点又は初留点及び沸点範囲	：データなし					
可燃性	：可燃性					

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	：データなし
引火点	：250℃以上
自然発火点	：データなし
分解温度	：データなし
pH	：データなし
溶解度	：水溶性
n-オクタノール／水分配係数	：データなし
蒸気圧	：データなし
密度及び／又は相対密度	：0.89g/ml(15℃)
相対ガス密度	：データなし
粒子特性	：該当しない
1 0．安定性及び反応性	
安定性	：安定
反応性	：強酸化剤との接触を避ける。
化学的安定性	：光により変質するおそれがある。
危険有害反応可能性	：通常の処理では無し。
避けるべき条件	：火気、熱源
混触危険物質	：強酸性物質
危険有害な分解生成物	：一酸化炭素（CO）、二酸化炭素（CO2）
1 1．有害性情報	
急性毒性（経口）	：ラット LD50 5,000mg/kg以上
急性毒性（経皮）	：ウサギ LD50 5,000mg/kg以上
皮膚腐食性／刺激性	：刺激を起こす大きな要因ではない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：刺激することがある。
呼吸器感作性	：鼻、喉、肺を刺激することがある。
皮膚感作性	：皮膚感作を起こさないと考えられる。
生殖細胞変異原性	：可能性を示すデータなし。
発がん性	：可能性を示すデータなし。
生殖毒性	：可能性を示すデータなし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：可能性を示すデータなし。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：可能性を示すデータなし。
誤えん有害性	：可能性を示すデータなし。
1 2．環境影響情報	
製品に関する情報	
生態毒性	：水生環境有害性 短期（急性）についてのみGHS分類の結果、区分3とする。
残留性・分解性	：速やかに生分解されることが予想され、排出処理で除去されと考えられる。
生態蓄積性	：連続的にばく露を受けた場合は、水生生物に対して長期に渡り悪影響を及ぼす可能性がある。
土壌中の移動性	：利用可能な情報はない。
オゾン層への有害性	：利用可能な情報はない。
1 3．廃棄上の注意	
残余廃棄物	：都道府県知事の許可を受けた産業廃棄処理業者と委託契約をして、処理を委託する。
汚染容器及び包装	：中身を使い切ってから廃棄する。製品が付着している容器も廃棄物として適切に処理する。
1 4．輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	：該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	：該当しない
国内規制	
海上規制情報	：船舶安全法、港則法の定めるところに従う。
航空規制情報	：航空法の定めるところに従う。
陸上規制情報	：消防法の定めるところに従う。
共通注意事項	：取扱い及び保管上の注意の項を参照するほか、運搬に際しては容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
1 5．適用法令	
労働安全衛生法	：非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当
化審法	：非該当
消防法	：指定可燃物 可燃性液体類
大気汚染防止法	：非該当
水質汚濁防止法	：非該当
下水道法	：非該当

船舶安全法	: 非該当
航空法	: その他の有害物件
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Y類物質）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）
1 6. その他の情報 引用文献および参照ホームページ等 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html IATA危険物規則書 RTECS:Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報 有機合成化学辞典（社）有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック 化学大辞典 協立出版 等 ※免責事項 このSDSはJIS Z7253:2019に準拠しております。 記載内容は通常の取扱いを対象としたものであって、他の物質と組み合わせるなどの特殊な取扱いをする場合は、使用環境に適した安全対策を実施の上でご利用ください。 改定日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。 また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので、物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる補償をなすものではありません。 すべての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので、取扱いには十分ご注意ください。	